

おおたま

2023

No. 129

令和5年5月発行



バスストップの整備促進

前年度比3.0%増↑

一般会計

44億4,481万円

3月定例会開催

3月定例会は、2日から15日までの14日間の会期で開かれました。内容は、村長提出案件30件（条例制定1件、条例改正9件、補正予算6件、令和5年度一般会計等当初予算8件、人事案件3件、指定管理者の指定1件、名誉村民の推戴1件、村道路線認定1件）および議員発議2件、合わせて32件が提出され、審議した結果、原案のとおり可決しました。陳情は1件提出され、審査の結果は9ページのとおりです。

商工費 1億20万円

- 夏まつり実行委員会補助 550万円
- 日帰り温泉施設利用促進事業補助 100万円
- アットホームおおたま指定管理業務委託 2,000万円

土木費 2億6,381万円

- 道路新設改良事業 9,477万円
- (仮称)大玉スマートIC設置検討業務委託 600万円
- 空き家改修等支援事業補助 330万円

消防費 2億3,941万円

- 安達地方広域行政組合消防費負担金 1億9,195万円

教育費 5億9,954万円

- 学校給食費補助 2,801万円
- 本宮方部学校給食センター設備改修負担金 1,805万円

災害復旧費 284万円

公債費 4億2,353万円

総務費 6億9,034万円

- 公共交通の運行 1,672万円
(デマンドタクシー、通勤通学バス)
- 定住促進対策 1,650万円
- 国内外交流事業 700万円

民生費 11億2,069万円

- 社会福祉協議会に要する経費 7,781万円
- 児童手当 1億5,929万円
- 保育所事業 3,467万円

衛生費 3億6,096万円

- 妊産婦健康管理経費 1,000万円
- 再生可能エネルギー利用促進事業 375万円
- 安達地方広域行政組合清掃費負担金 1億4,074万円

農林水産業費 5億2,045万円

- 農業機械等共同利用等整備補助 1,229万円
- 電動機械器具購入補助 150万円
- ふくしま森林再生事業 1億3,615万円
- 有害鳥獣被害防止対策費 517万円

スマートIC、高速道路

令和5年度

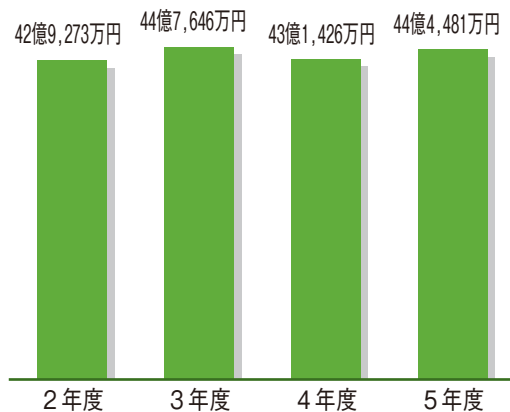
最重点施策

- ・スマートインターチェンジ、高速道路バスストップの整備促進
- ・農業振興公社と一体で推進する持続可能な農業
- ・（仮称）子育て支援センター（村民交流センター）事業
- ・農福連携推進事業「再エネアグリプロジェクト事業」
- ・定住促進対策事業
- ・マチュピチュ村長招聘等の国内外交流事業
- ・日本で最も美しい村づくり大賞事業
- ・健康長寿の推進
- ・学校給食費補助事業
- ・地域ぐるみの学び・スポーツの村づくり

令和5年度 予算額

会 計 名	予 算 額	対前年度比
一般会計	44億4,481万円	3.0%増
国民健康保険特別会計	8億6,098万円	3.5%減
玉井財産区特別会計	734万円	69.2%増
農業集落排水事業特別会計	1億3,502万円	10.5%減
土地取得特別会計	5万円	99.1%減
介護保険特別会計	7億8,395万円	1.5%増
後期高齢者医療特別会計	7,925万円	0.2%減
水道事業	1億5,384万円	1.5%増
会 計	1億6,502万円	34.7%増
(収益的支出)		
(資本的支出)		

一般会計予算の推移



分科会の質疑と予算審査特別委員会の審査意見は4ページから7ページです。

3/15

本会議

- ・議案審議
- ・予算審査特別委員会の審査結果報告

3/14

予算審査特別委員会

- ・分科会の審査報告
- ・予算審査特別委員会の審査結果を集約

3/9~

総務文教分科会
産業厚生分科会

- ・予算審査

3/8

予算審査特別委員会

- ・総務文教分科会・産業厚生分科会の2分科会を設置

3/2

本会議

- ・議案の一括上程
- ・提案理由の説明

当初予算は、次のように議会で審議します。

当初予算が
決まるまで!!

新年度予算を問う

分科会質疑

ピックアップ

分科会では、村政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつか紹介いたします。

総務文教分科会

総務課

ふれあいセンター管理・運営

問 村ホームページで予約はできないか。

答 予約システムの構築はいまのところ難しい。



3月9日

政策推進課

(仮称)大玉村子育て支援センター

問 (仮称)大玉村子育て支援センター設計監修業務委託料の内容は。

答 遊具や屋外広場の景観デザイン、村産の木材の使用量など具体的な検討や、住民説明会の支援、補助金確保の支援などを想定している。



(仮称)子育て支援センター内観イメージ

通勤通学バス運行事業

問 大山地区の実証実験は、利用者のニーズをどのように把握しているのか。

答 第五次大玉村総合振興計画策定時のアンケートや検討委員会の中で要望があったことから、バス停や信号、天候の状況などを考慮しながら実証実験を重ね、慎重に検討していく。



待たれる大山地区での運行

教育総務課

ICT支援員の配置

問 ICT支援員は充足しているのか。

答 タブレットや学習ソフトの操作は、子どもたちも先生方も慣れてきた。先生方の研修を選択メニューにした。1名の支援員で対応できると考える。

本宮方部学校給食センター設備改修

問 設備改修の内容は。

答 老朽化してるボイラーとコンテナの入れ替えを行う。

生涯学習課

社会教育事務事業

問 コロナ禍で各種事業が中止になり、人々の意識や取り組み方も変化してきた。多岐にわたる実施事業を精査する時期ではないか。

答 村民の方が興味を持てるような講座などを検討しながら、若い世代から高齢世代まで楽しめる生涯学習の再開を目指していきたい。

学校支援活動・放課後子ども教室

問 ボランティアの人数は足りているのか。さらなるボランティア参加者を増やすためには。

答 ボランティアの人数は足りていない。より多くの方に携わってもらえるよう、活動写真を入れた分かりやすいチラシを作成していく。お店に置いたりポスターとして掲示したりし、保護者にも積極的にボランティアとして参加してもらえるよう声掛けしていく。



将棋を習う放課後子ども教室の子どもたち

産業厚生分科会

住民生活課

防犯カメラ

問 公共施設の防犯カメラ設置は。また一般家庭への防犯カメラ設置補助の考えは。

答 事件事故発生時には有効であることから各課と連携し検討していく。
一般家庭への防犯カメラ設置補助は実施に向け検討していく。



公共施設に設置されている防犯カメラ



3月9日

健康福祉課

結婚新生活支援補助事業

問 補助事業の該当要件は。

答 世帯所得500万円以下が該当する。29歳以下で60万円、30歳から39歳までに30万円を上限に補助金が支援される。

産業課

農業振興公社

問 農業振興公社で購入する農作業機械の種類は。また作業は公社で受託するのか。

答 消毒防除用の機械と草刈り用の機械を予定している。作業の受託、機械の貸し出し両面で検討していく。

農畜産業の支援

問 令和4年度に行われた飼料・肥料・資材高騰への支援は継続しないのか。

答 国の動向が明らかでないため当初予算には計上しないが、状況を把握し支援を取り組みたい。



持続的な農畜産業の支援を

建設課

スマートインターチェンジ

問 スマートインターチェンジの見通しは。

答 令和5年度に国の直轄調査の採択を目指している。整備にあたっては、国からの連結許可が最終的な決定となる。

環境保全課

景観保護

問 景観保護の観点から看板設置等の考え方は。

答 ふるさと景観保護条例に基づき基本方針を定め、事業者に対し大きさや高さ、場所などについて協力を求めている。また、屋外広告物撤去の補助も行っていく。



村民の誇りである景観を守るために

予算審査特別委員会の審査意見

予算審査特別委員会の当初予算に対する審査意見は次のとおりです。



総務部

① (仮称)子育て支援センターの整備について、多くの住民の意見を反映し、親しまれる交流拠点の施設整備を進められたい。また、駐車場は、周辺の公共施設と連携した利用方法を検討願いたい。

② 地域おこし協力隊について、活動内容が地域住民に伝わるよう「広報おたま」などあらゆる媒体を活用した効果的な情報発信に努められたい。

③ 通勤通学バス運行事業の大山地区運行について、利用者ニーズ等を十分に調査し、デマンド型乗り合いタクシーの増車や対象エリア拡大の検討と合わせ総合的に検証し進められたい。

教育部

① 学校ICT推進について、教職員の多様化する業務に考慮した支援体制を構築するとともに、子どもたちの情報活用能力の育成に努められたい。

② 社会教育事業全般について、事業展開方法を精査して、住民の要望を反映し新たな事業を取り入れながら、若い世代から高齢世代までいきいきと楽しめる生涯学習事業の再開と充実に努められたい。

③ 総合型地域スポーツクラブについて、地域住民の健康増進、地域の活性化等になる魅力ある交流活動となるよう進められたい。

住民福祉部

① 昨今の社会情勢を鑑み、安心して暮らせる環境整備を図るため、防犯カメラの設置について、公共施設及び個人住宅への設置補助について検討すること。

② 自主防災組織の設立について、地域ごとに想定される災害が異なるため、住民に寄り添ったきめ細かな対応に努めること。

③ 住民から様々な相談が寄せられ、専門的な知識も求められているため、人員の拡充も含め体制の充実を図ること。

④ 一人暮らし高齢者及び老々世帯について、必要なサービスを行えるよう情報収集に務めること。

産業建設部

① (仮称) スマートインターチェンジについて、早期に住民へ提示できるよう、より一層努力されること。

② 農業振興公社について、住民の要望に答えられるよう、様々な形態での支援を行うこと。

③ 経営状況が深刻な農業・畜産業に対して、経営の支えとなる支援の拡充を検討すること。

④ ふれあい村民の森の利用者を増やすべく、多角的に検討を行うこと。

⑤ アットホームおおたまについて、健全な経営に向け、幅広く意見を聞きながら検討を行うこと。

大玉村名誉村民の推戴

など可決

大玉村堆肥センターにおける指定管理者の指定

一般社団法人大玉村農業振興公社を大玉村堆肥センターの指定管理者として指定し、指定期間を令和5年4月1日から令和10年3月31日とするもの。堆肥の注文の受付先は大玉村農業振興公社とJ A大玉資材店(旧J A大玉営農センター)です。

大玉村名誉村民の推戴



本村出身の福井トシ子氏(東京都世田谷区)を大玉村名誉村民に推戴することについて同意しました。

大玉村名誉村民は、大玉村民または村に縁のある方で公共の福祉の増進または学術・技芸の進展に著しい功績があり、村民が郷土の誇りとして深く尊敬する方に、議会の同意を得て決定されます。

福井さんは、大玉村生まれ、玉井中学校(現大玉中学校)、安達高校を卒業し、東京女子医科大学看護短期大学専攻科、福島県立総合衛生学院保健学科を修了されました。看護師、助産師、保健師として、東京女子医科大学病院、杏林大学医学部付属病院において勤務されるなど、30年以上にわたり看護・助産・管理業務に従事されました。平成22年に日本看護協会常任理事、平成29年に日本看護協会会長に就任され、現在に至ります。

日本看護協会では、全国の看護職の役割拡大と人材育成に尽力され、厚生労働省審議会委員の公職を歴任されるなど、医療・福祉分野の第一人者として活躍されています。特にコロナ禍において、医療現場の最前線に立つ看護職員の処遇改善など医療体制整備に大きな役割を果たすとともに、公共の福祉の増進に多大な貢献をされています。

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦

現職の渡辺光太郎氏(大山字北谷地)の法務大臣への推薦について意見を求められ、適任であると答申した。任期は令和5年7月1日から令和8年6月30日までの3年間。

令和4年度 3月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	△ 5,477万円	54億9,310万円
国民健康保険特別会計	1,227万円	9億3,849万円
玉井財産区特別会計	—	666万円
農業集落排水事業特別会計	—	1億5,559万円
後期高齢者医療特別会計	20万円	8,176万円
水道事業	(収益的支出) 519万円	1億5,930万円
会 計	(資本的支出) 209万円	1億3,292万円

※玉井財産区特別会計は、予備費等の歳出予算額を調整し、予算総額は増減なし。

※農業集落排水事業特別会計は、項目間の組み替えを行い、予算総額は増減なし。

1月臨時会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	大玉村職員の高齢者部分休業に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	大玉村職員の設定年等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第3号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第4号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第5号	大玉村一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第6号	大玉村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第7号	職員の降給に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第8号	職員の懲戒の方法及び効果に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第9号	公益的法人等への職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第10号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第11号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	職員の再任用に関する条例を廃止する条例について	原案可決
議案第13号	令和3年度大玉村1号線災害復旧工事請負変更契約について	原案可決
議案第14号	令和4年度南町・石橋線（外）道路改良舗装工事請負変更契約について	原案可決

3月定例会 議決結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第15号	大玉村個人情報の保護に関する法律施行条例の制定について	原案可決
議案第16号	大玉村情報公開条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第17号	大玉村情報公開等審査会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第18号	大玉村行政不服審査法関係手数料条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第19号	大玉村公の施設の指定管理者の指定の方法及び等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	大玉村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第21号	大玉村特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第22号	大玉村子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第23号	大玉村国民健康保険条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第24号	大玉村名誉村民の推戴について	同 意
議案第25号	大玉村堆肥センターにおける指定管理者の指定について	原案可決
議案第26号	令和4年度大玉村一般会計補正予算について	原案可決
議案第27号	令和4年度大玉村国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第28号	令和4年度大玉村玉井財産区特別会計補正予算について	原案可決
議案第29号	令和4年度大玉村農業集落排水事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第30号	令和4年度大玉村後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第31号	令和4年度大玉村水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第32号	令和5年度大玉村一般会計予算について	原案可決
議案第33号	令和5年度大玉村国民健康保険特別会計予算について	原案可決
議案第34号	令和5年度大玉村玉井財産区特別会計予算について	原案可決
議案第35号	令和5年度大玉村農業集落排水事業特別会計予算について	原案可決
議案第36号	令和5年度大玉村土地取得特別会計予算について	原案可決
議案第37号	令和5年度大玉村介護保険特別会計予算について	原案可決
議案第38号	令和5年度大玉村後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決
議案第39号	令和5年度大玉村水道事業会計予算について	原案可決
議案第40号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案可決
議案第41号	区長代理の委嘱について	同 意
議案第42号	村道路線の認定について	原案可決
議案第43号	大玉村情報公開等審査会条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第44号	区長等の委嘱について	同 意
議員発議第1号	大玉村議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原案可決
議員発議第2号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書について	原案可決

全国町村議会議長会自治功労者表彰

2月8日に開催された全国町村議会議長会定期総会において、押山義則議員が議員在職15年の自治功労により表彰されました。

3月定例会では表彰の伝達が行われました。



押山義則議員
(議員在職15年)

3月定例会に提出された陳情

件名	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出陳情書
提出者	二本松市高田 日本労働組合総連合会福島県連合会
付託委員会	産業厚生常任委員会
審査結果	採択

議員発議 意見書1件を提出

福島県最低賃金の引き上げと 早期発効を求める意見書

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、
経済産業大臣、福島労働局長



3月定例会では、3月6日に5人、7日に2人の議員が一般質問を行いました。
質問と答弁を要約した内容は、質問順に10ページから16ページです。

おしやま 押山	よしのり 義則	1. 部活動の地域移行への取り組みは 2. 令和5年度施政方針から	10ページ
ただ 武田	えつこ 悦子	1. 定住人口を増やす取り組みは 2. 支援の拡充で子育てしやすい村づくりを	11ページ
ほんた 本多	やすお 保夫	1. 小中学校駐車場の安全対策と中学校の校庭の対策を 2. 山ろく交流センター今後の対応は	12ページ
わたなべ 渡邊	けいこ 啓子	1. 村民の健康維持の現状を問う 2. 食品衛生法改正に係る漬物製造販売の支援を	13ページ
さわら 佐原	さゆり 佐百合	1. パブリックコメントへの関心を高めるために 2. 住民と協働の情報発信を	14ページ
すどう 須藤	ぐんぞう 軍蔵	1. 村民に日本一近い村政をつくる 2. 活力ある村づくりを進めるために	15ページ
きくち 菊地	あつのり 厚徳	1. 農福連携をきっかけに元気な野菜作りを	16ページ

※一般質問…議員が村行財政全般にわたって、村に対し説明を求めまたは所信をただすこと。大玉村議会の一般質問は一人30分以内で、答弁時間は含まない。

一般質問

ここが聞きたい！
7人の議員が登壇

部活動の地域移行への取り組みは

質問趣旨

学校部活動及び新たな地域クラブの在り方の指針が文化庁、スポーツ庁から示された。大玉村の方針は。



部活動の舞台

押し山義則議員



押し山 部活動の地域移行への考え方

背景は。中学校での部活動の実態は。

生涯学習課長 部

活動を従前どおりの体制で維持することが難しい学校もあり、将来にわたり生徒がスポーツや文化活動に継続して親しむ機会の確保が必要であることが背景であると考えている。

教育総務課長 中学校

には運動部が9種、文化部が2種の部活動があり、部員不足で近隣中学校との合同チームで活動している運動部もある。

押し山 部活動が地域移行することで熱血指導や勝利至上主義になつていくのは否めない。地域移行による部活動の位置づけや教育的意義を伺う。

教育長 部活動は生徒の自主的、自発的な参加によって行い、教育課程との関連を図りながら人として成長していくため、生徒指導的な役割がある。地域移行により、学習の場が地域の団体等に移っていくが、生徒の多様な学びの場としての教育的意義を理解いただいて、地域の方々にもその場を担っていただく必要があると考えている。

押し山 再エネアグリプロジェクト、農福連携について企業参画の必要性を感じる。また事業展開にクラウドファンディングの利活用は考えられないか。

村長 企業の参画は求めていきたい。企業版ふるさと納税※やクラウドファンディングも行なっていくきたい。

押し山 特産品発掘のための畑作用苗や草刈り作業プロ集団を農業振興公社で取り組めないか。

産業建設部長 遊休農地を活用して推進作物の実証栽培を経ながら、推進、普及に努め、苗の提供も視野に入れている。草刈り作業については、農作業の受委託の組織体制づくりや、機械器具も含めた体制整備を段階的に進めていく必要があると考えている。

令和5年度施政方針から

質問趣旨

令和5年度の村政執行方針が示された。重点施策を検証する。

押し山 マチュピチュ村との交流の費用対効果の検証は。マチュピチュ遺跡に大玉村入場枠の設定等の考えはあるか。

村長 マチュピチュ村との交流による経済効果は数億円あると考えられている。これまでの事業費は約2200万円の支出で県補助を活用して自主財源は約600万円である。今年度も県補助を考えている。さらに、ふ

るさと納税でも工夫していく。交流再開に期待している。

総務部長 マチュピチュ遺跡の入場許可はペルー国政府の文科省が行っており、直接の協議が必要になる。今後、可能性を含め検討していきたい。

※企業版ふるさと納税：企業が自治体に寄付すると税負担が軽減される制度。



「プカラの牛」巡回展開会セレモニー（3月6日）



定住人口を増やす取り組みは

質問趣旨

県内でも人口が増えている大玉村。定住人口増加対策としての環境整備にも取り組むべきではないか。

武田 定住人口増加対策として村が取り組んできた成果は。

政策推進課長 昨年か

ら実施している大玉村住宅取得支援事業補助金では、昨年度40件、88人の転入増、今年度との合計で83件、144人の転入増となっている。

武田 人口が増加する

中、村の水道はどのくらいまで対応できるのか。昨年、大雨により水源に大きな被害があった。施設の老朽化も心配される。新たな水源確保への取り組みは。

産業建設部長 4人家

族を1世帯として、約885世帯分の余力がある。

新たな水源については、関係地元の方々と協議しながら、令和5年度には水源調査を行いたい。

武田 村内各地で宅地

造成が行われているが、周辺道路の整備がされないままだったり、虫食いの状態で開発が進んでいた。道路の整備などと併せて計画的な開発はできないのか。

産業建設部長 開発区

域の道路整備は開発行為者が行うのが原則であり、開発行為者と協議しながら整備を進めたい。道路沿線から開発されることが多いが、開発地域周辺の整備なども重視して進めていきたい。



住宅地誘導に向けて整備された南町・石橋線

支援の拡充で子育てしやすい村づくりを

質問趣旨

学校給食費の無料化やすこやか祝い金の拡充で保護者への支援を拡大できないか。

武田 村では学校給食費の5割が補助されているが、全額無料にすべきではないか。また安心しておいしい給食を提供するために、有機野菜や有機米を食材に使用する考えは。

村長 国の動向に期待

し見極めながら検討していきたい。

産業建設部長 有機農

産物の使用には、食材の安定供給や価格などに課題があり検討していきたい。

武田 県内多くの自治

体に出産祝い金制度があり、第1子目から支援している自治体も多い。村では第3子目からすこやか祝い金が支給されるが、第1子目からに拡大できないか。

村長 国でも異次元の

子育て支援を検討するようである。これら国の動

きを見極めながら考えていきたい。

武田 令和6年度に設

置する子ども家庭センターと子育て世代包括支援センターとの違いは何か。専門職の配置は予定しているのか。

住民福祉部長 子育て

世代包括支援センターは、保健師を配置し、母子・乳児へのサポートや相談支援を行っている。こども家庭センターは児童の虐待なども含めて相談支援を行い、保健師、福祉の担当に併せて専門職の配置も検討したい。



音楽に合わせて体を動かすベビーリトミック

他に次の質問がありました。

・生涯学習、生涯スポーツの推進について

小中学校駐車場の安全対策と中学校の校庭の対策を

質問趣旨

駐車場の照明灯設置や舗装等、中学校の校庭の砂ぼこり対策を伺う。



本多 小学校の駐車場の照明灯の数が少ない。安全安心の対策を伺う。

教育総務課長 照

明灯を設置しているものの光量の面では少ないという実態は承知している。実態をよく勘案しながら検討していきたい。大山小学校は（仮称）子育て支援センターの周辺整備と併せて検討していきたい。

本多 中学校の駐車場は舗装されてなく、白線もない。簡易舗装などをする考えはあるか。また照明灯増設の考えを伺う。

教育総務課長 大山小



駐車場の安全対策を

学校の周辺整備計画の後に北側駐車場の舗装と照明灯などの設置を検討したい。

本多 春先の強風により中学校校庭の砂ぼこりが道路や歩道に堆積する。近隣住宅への影響など問題が発生してからでは対応しきれない。解決策を伺う。

教育総務課長 部活動等の関係から芝生化は適さない。校庭への頻繁な水まきなどにより軽減を図ることも可能だが、人的な面や施設等により難しい状況である。今春の状況を把握しながら、今後の対応を検討していきたい。

本多 12月定例議会で、村長は建築額相当の火災保険に再加入したと

山ろく交流センターの今後の対応は

質問趣旨

「大玉村を明るくする会」会報の内容を問う。

本多 「大玉村を明るくする会」会報を読んだ感想を伺う。

村長 住民監査請求※は棄却で問題ないという結論であった。議場で感想を述べるのは差し控えていただく。

本多 他の認可地縁団体が補助金申請をした場合には事務的なことや業者の紹介を全面的に支援してもらえるのか。

総務部長 山ろく交流センターはコミュニティ助成事業補助金の対象となることから「玉井9区婦人ホーム」の団体を村で支援させていただいた。今後、地縁団体や各行政区の団体が集会所等を建設したい場合は、アドバイス等はさせていただく。

本多 12月定例議会で、村長は建築額相当の火災保険に再加入したと

聞いていると答弁したが、その後保険会社と保証金額を確認したか。

村長 しっかりとした保険に入ったという報告を会長から受けており、それで十分だと認識している。

本多 12月定例議会で業者との癒着や便宜供与は一点の曇りも不正もないと答弁している。「大玉を明るくする会」会報は、「玉井9区婦人ホーム」前会長の実名で出ている。法的手段を用いる考えは。

村長 12月に答弁したとおり一点の曇りもなく、そういう事実はない。行政は住民の信頼なくして成り立たないので、引き続き信頼を得られるように村政に当たっていき



山ろく交流センター

※住民監査請求…住民が村長等執行機関や職員による違法もしくは不当な財務会計上の行為または怠る事実について、監査委員に監査を求める制度。



村民の健康維持の現状を問う

質問趣旨

福島県はメタボリック症候群該当者の割合が全国でワースト4位である。本村の現状を確認し健康維持を考える。

渡邊

福島県のメタボリック症候群該当者の割合が令和2年度は19・3%となり、過去最高となった。本村の割合を伺う。

住民福祉部長

村は25・6%で、国保の方のデータである。県の19・3%は社会保険等の被保険者も含めたデータである。

渡邊

福島県は肥満傾向の子どもの割合が全ての年齢と性別で全国平均を上回っている。本村の状況を伺う。

教育総務課長

小学生全体では12・87%、中学生全体では19・07%で、全ての年齢で全国平均を上回っている。

渡邊

肥満を改善するためにやっていることは。

住民福祉部長

成人には総合健診で基準値を超えた方に特定保健指導を行っている。就学前の子どもたちには、乳幼児健診で栄養や食育に関する指導を行っている。小中学校では、養護教諭を中心に給食センターの栄養教諭や保健師と連携を図り、健康教育や食育の授業を行い、健康マネジメント力の向上に努めている。

渡邊

成人にはストレッチと食欲の関係も視野に入れた対策ができないか。

住民福祉部長

特定保健指導を中心に栄養指導を実施し、健康長寿推進村民会議で協議するなど対策を検討していきたい。



自ら健康チェックを

食品衛生法改正に係る漬物製造販売の支援を

質問趣旨

食品衛生法改正に伴い、営業許可や専用の製造場所が必要になる。村で加工所の設置ができないか。

渡邊

法改正により、漬物製造業の営業許可を取得するためには基準を満たす施設が必要である。村で加工所の設置を検討しているか伺う。

産業建設部長

直売所に近接する箇所に地域振興施設と併せて設置を検討したい。

渡邊

加工所設置の今後の予定は。

産業建設部長

3月末から庁内のプロジェクトチームで直売所周辺の地域振興施設の検討を進めていきたい。

渡邊

旧保養センターは、現在どのように活用しているのか。

産業建設部長

エゴマの会や商工会女性部の方々が年間14回ほど利用している。

渡邊

旧保養センターが、空いている日に他の方が利用することはできるのか。

産業建設部長

可能である。

渡邊

個人やグループで施設を整備したい場合に県や村からの補助金はあるのか。

産業建設部長

施設整備に特化した補助金は、県も村もない。今後の国・県の動向や要望等も踏まえながら検討していきたい。



おいしい漬物をこれからも製造販売できるように

他に次の質問がありました。

・宅地開発に係る課題解決に向けて

パブリックコメントへの関心を高めるために

質問趣旨

パブリックコメント※に参加する人が少ない。村民に日本一近い村政の実現のためには住民の意見は大切ではないか。



佐原 パブリックコメントの目的は。

総務部長 村が政策などを定める前にその案を公表し広く住民の皆さんから意見を募集することにより、村民の皆さんとの協働の村づくりを推進していくことである。

佐原 パブリックコメントが集まらない原因と解決策は。

総務部長 パブリックコメントの制度や実施していることを知らないことから、意見を提出する人数が増えないと考えられる。パブリックコメントの再周知や実施する周

知方法などを検討していきたい。

佐原 どのように村民の意見を聴くのか。

村長 子育て支援センターと公民館の機能を持った施設のアンケートから、村民の方はいろいろな意見があることを改めて感じた。コロナの影響で中止していた村政懇談会を再開し、村に転入した住民の方との懇談会も実施するなど、いろいろな場で意見を伺いたい。

※パブリックコメント：計画等の素案を事前に公表し、その案に対して広く意見を募ること。



(仮称) 大玉村子育て支援センター
第3回全体会議（3月28日）

住民と協働の情報発信を

質問趣旨

細やかな情報発信で、村民が村づくりに参画し、村外から訪れる人を増やす仕組みができないか。

佐原 広報紙やSNSなどは、誰に何を伝えたいかを意識して発信しているのか。

総務部長 広報紙は各世代を意識した掲載内容を分かりやすい表現で紙面を作成することに心がけている。村ホームページやSNSは子育て、教育、観光、行政情報など多岐にわたる情報などを各課がターゲットを意識して掲載している。

佐原 村の自然やイベント、地域の身近な情報などを住民と協働で発信する仕組みができないか。

総務部長 地域おこし協力隊が運営するSNSやホームページで、地域の方々から情報を収集し発信するなど、住民の方々の協働による情報発信の仕組みづくりを検討していきたい。

佐原 村長が発信していたフェイスブックで、イベントなど村のことがよくわかったが、フェイスブックを再開する予定はあるか。

村長 再開は難しいが、私が発信していたような内容を村フェイスブックで職員が発信することを検討している。



情報発信を行う地域おこし協力隊

須藤軍蔵議員



村民に日本一近い村政をつくる

質問趣旨

2025年には高齢人口がピークとなる。行政需要が増大するなか、マンパワーの確保がより重要ではないか。

須藤

高齢者自らが、健康づくりに取り組むこ

レもない。村は昨年、「障がいのある人もない人も共に生きる大玉村づくり条例」を制定した。誰もが利用しやすい庁舎となるよう工夫できないか伺う。

質問趣旨

農業振興公社への期待は大きい。農業を守るとともに地域の活性化には多様な取り組みが必要だ。

また、村内の個人や団体が自主的に行う地域活性化への取り組みに対し、情報の提供や運営への支援を行う補助金や人材など、大玉版の制度は作れないか。

産業建設部長

二本松市の集落支援員は各支所に配置し、集落の活性化、定住促進を図る役割

と聞いている。また、村内の皆さんが自ら活性化に取り組むことは、地域づくりの観点から極めて重要だと考える。村をはじめ、振興公社や農業委員会など関係機関でどのような支援内容や体制ができるのかを検討していきたい。

また、村内の皆さんが自ら活性化に取り組むことは、地域づくりの観点から極めて重要だと考える。村をはじめ、振興公社や農業委員会など関係機関でどのような支援内容や体制ができるのかを検討していきたい。

また、村内の皆さんが自ら活性化に取り組むことは、地域づくりの観点から極めて重要だと考える。村をはじめ、振興公社や農業委員会など関係機関でどのような支援内容や体制ができるのかを検討していきたい。

副村長

生活支援コーディネーターの必要性は十分認識している。先進事例なども参考にし、令和5年度内に予算化をし、令和6年度当初から対応できるよう進めたい。

村長

エレベーターの設置は以前検討し、今の庁舎の構造では難しいとの結果であったが、引き続き検討したい。

須藤

農業や振興公社に対して意見を聞くアンケートを村民向けに行なったが、内容を伺う。

産業建設部長

農家・非農家両方を対象に、村の農業や振興公社の事業について行なった。

須藤

農家が振興公社に期待する事業にはどのようなものが多かったのか。

産業建設部長

二本松市の集落支援員は各支所に配置し、集落の活性化、定住促進を図る役割

須藤

役場は築60年以上経過している。階段に設置されている手すりも不十分で、2階にはトイレもない。

村長

エレベーターの設置は以前検討し、今の庁舎の構造では難しいとの結果であったが、引き続き検討したい。

須藤

農業や振興公社に対して意見を聞くアンケートを村民向けに行なったが、内容を伺う。

産業建設部長

農家・非農家両方を対象に、村の農業や振興公社の事業について行なった。

須藤

農家が振興公社に期待する事業にはどのようなものが多かったのか。

産業建設部長

二本松市の集落支援員は各支所に配置し、集落の活性化、定住促進を図る役割

役場は築60年以上経過している。階段に設置されている手すりも不十分で、2階にはトイレもない。

エレベーターの設置は以前検討し、今の庁舎の構造では難しいとの結果であったが、引き続き検討したい。

農業や振興公社に対して意見を聞くアンケートを村民向けに行なったが、内容を伺う。

産業建設部長

農家・非農家両方を対象に、村の農業や振興公社の事業について行なった。

須藤

農家が振興公社に期待する事業にはどのようなものが多かったのか。

産業建設部長

二本松市の集落支援員は各支所に配置し、集落の活性化、定住促進を図る役割



階段踊り場に設置された手すり

二本松市では集落支援員を配置し、集落の活性化を図っている。内容を把握しているか。

農業や振興公社に対して意見を聞くアンケートを村民向けに行なったが、内容を伺う。

産業建設部長

農家・非農家両方を対象に、村の農業や振興公社の事業について行なった。

須藤

農家が振興公社に期待する事業にはどのようなものが多かったのか。

産業建設部長

二本松市の集落支援員は各支所に配置し、集落の活性化、定住促進を図る役割



活力ある村づくりを

農福連携をきっかけに元気な野菜作りを

質問趣旨

野菜の無農薬栽培を提案したい。
元気な土でできた野菜をみんなで食べよう。



菊地

落ち葉やも

み殻などを利用して化学肥料を使わないで野菜を作る栽培方法がある。再エネ・アグリパークの農法の一つとして無化学肥料の検討はできないか伺う。

総務部長

再エネ・ア

グリパークでは将来的に有機農業等の取り組みの検討を進めていく考えはある。農業用ハウスでの小規模な栽培を試行することから始め、高齢者や障がい者等の取り組みやすい生産品目を選定し取り組んでいくなど段階的に機能強化を図っていき

たい。

村では家庭菜園

に適した土地や菜園付き住宅の計画などはあるか。

産業建設部長

家庭菜

園などの需要は今後高まっていくものと考えている。要望に応じて、その適地や規模も含めて検討していきたい。村が行う菜園付宅地というものは、現時点で計画はない。

菊地

菜園付き住宅を

農業振興公社の事業として行えないのか。

産業建設部長

農地法

の改正によって農地取得に必要な下限面積が撤廃された。今後、事業者によって菜園付住宅というような計画も出されるのではないかと推察される。

菊地

学校給食で有機

栽培産品を利用することで生産者の供給を支えることができる。学校給食に有機栽培産品を使う考えはあるか。

産業建設部長

有機野

菜や有機栽培米は、生産量が限られており、供給の安定性あるいは価格という点で課題がある。学校給食での使用は、有機栽培方法の普及拡大の進展による安定・継続した供給体制の確立が行われた先に展望するものと考えている。



農福連携の拠点となる安達太良応急仮設住宅跡地（玉井字横堀平）

他に次の質問がありました。
・適応指導教室とは何か

議会が取り組む視察調査

大作田1号線災害復旧
工事(完了)現地調査
3月20日(月)



復旧工事が完了した大作田1号線

完了した大作田1号線災害復旧工事を全議員で3月20日に現地視察しました。大作田1号線は、令和元年10月に発生した大雨により地すべりが発生し、幅80m、長さ130m、6万立方メートルの土砂が動いたと試算されています。工事では、約26900立方メートルの土砂を搬出し、横5段、縦2本の排水溝の整備などが行われました。今年度は現地での5箇所での地すべり対策の効果が検証されます。

福島第一原子力発電所
視察
4月7日(金)



2号機、3号機の原子炉建屋

視察では、廃炉作業の進捗や汚染水処理の仕組み、増え続けるALPS処理水の海洋放出の考え

福島第一原子力発電所を4月7日に視察しました。前回の視察は平成27年1月16日です。大玉村議会は、汚染水の海洋放出方針決定に反対する意見書を令和3年6月に国に提出しました。今年の春から夏ごろに処理水の海洋放出を始める政府の方針が報道されるなか、現況を確認すべきと視察しました。

方などの説明を受けました。

多核種除去設備(ALPS)や再浄化処理により62種類の放射性物質を告示濃度限度未満まで取り除きます。しかし、トリチウムの除去は難しく、トリチウムの放出基準を満たすまで処理水を十分に希釈した上で放出されると説明がありました。



汚染水処理の説明を受ける

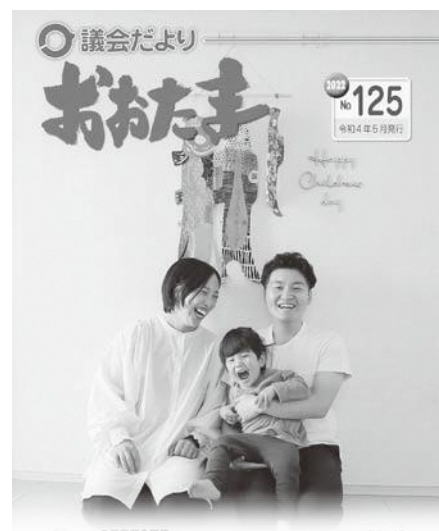
世界の英知を福島に結集しトリチウムを除去する技術開発を進め、県民だけでなく国内外への正確な情報発信と丁寧な説明によって理解が得られ、風評対策も併せて進められるよう注視し、求めています。

第37回町村議会広報全国コンクール 表紙デザイン賞 銅賞

全国町村議会議長会主催の「町村議会広報全国コンクール」において、大玉村議会が表紙デザイン賞銅賞を受賞しました。吉村潔審査委員からは、「端午の節句を祝う3人家族の自然な笑顔をうまくとらえ、優れた広報写真になっていきます。この表紙は、裏表紙でスタートした新企画と連動したものの。議員が出向いて取材(インタビュー・撮影)することで、議会を身近にし、議会活動への理解を広げたいという意図が込められています。ぜひ、続けていただきたい好企画です。」と講評をいただきました。



身近な議会活動、議会だよりづくりをさらに目指します



保住さんご家族



つなぐ つながる 笑顔



第5回「つなぐ つながる 笑顔」は、渡邊さんご家族です。渡邊さんは、拓也さんと由香里さんご夫妻、小学5年生の惺南くん、4年生の未來さん、幼稚園年長の恋菜ちゃん、の5人家族です。

拓也さんは、中学・高校・大学と陸上一筋、由香里さんは高校生の時にバドミントンで全国大会に出場されたそうです。家族全員でラニンングクラブに参加し、惺南くんはサッカー、由香里さん、未來さん、恋菜ちゃんはバドミントンをやっています。スポーツに情熱を燃やす元気がいっぱい渡邊さんご家族にお話を伺いました。

大玉村の暮らし

拓也さん 子育て支援が手厚く、子育てしやすいです。地域の人と顔見知りなので安心感があります。

由香里さん 朝、子どもを幼稚園に送っていく時に雄大な安達太良山を見ると、「今日も頑張れそう」という気持ちになります。自然の景色がきれいな大玉村が大好きです。

惺南くん サッカーと漢字検定です。漢字は4年生の時よりも難しくなるので頑張りたい。

未來さん あだたら健康マラソン大会、バドミントン、習字を頑張りたいです。大好きなハンバーグをひとりで作れるようになりたいです。

恋菜ちゃん 幼稚園の運動会と発表会です。今よりももっと速く走れるようになりたいな。

子どもたちへの思い

拓也さん 子どもたちが自分から「やりたい」と言ったことは、やらせるようにしています。惺南はスポーツ以外に釣りをやりたいと言いました。

私も父も釣りが好きなので、よく3人でいきます。

由香里さん 子どもたちはパパに似て、スポーツの他にも折り紙などの物作りも得意です。夫は私よりも器用なんです（苦笑）。子どもたちには、たださんの経験を通して、これだけは頑張れるという自信になるものを見つけてほしいです。

家族にとってスポーツは

拓也さん 家族で同じスポーツに親しむことで、同じ方向を向いて一緒に時間を過ごして、絆が強まるのいいです。

由香里さん ラニンングクラブには子どものお友達も入っていて、縄跳びやラダー、リレーなどいろいろなことをやるので子どもたちはすごく楽しいと喜んで通っています。



大玉村にあればいいなと思うもの

拓也さん 子どもから大人まで気軽に参加できるスポーツ教室があればいいです。総合公園などスポーツ環境をもう少し整えてもらえたらと思います。

由香里さん 村の情報がスマホに届くような仕組みがあれば情報を見逃すこともなく、ちょっとした時間に目を通せるので助かります。



編集後記

雄大な安達太良山に青い空、水が張られた田んぼには逆さ安達太良が映り、薫風は私たちの心を軽やかにしてくれます。議会だよりの「つなぐ つながる 笑顔」は、1年前から始まりました。村民の皆さんの笑顔をつないで、リレーしていく企画です。

このページの右上には、笑顔カウンターがあることにお気づきでしょうか。皆さんも次の笑顔の一人になってみませんか。村民の皆さまに親しみやすい広報となるよう、なお一層努めてまいります。

(渡邊 啓子)

議会広報編集特別委員

- 委員長 佐原百合
- 副委員長 斎藤 信一
- 委員 渡邊 啓子
- 委員 菊地 厚徳
- 委員 武田 悦子
- 委員 押山 義則